

第10回入間市指定管理者候補選定委員会会議録

1 日 時 令和5年10月16日(月)午後1時30分～午後3時00分

2 場 所 大会議室

3 出席者 委員長 濱川敦

委 員 岩田正博、浅見泰志、関谷佳代子、岸道博、市川一博、河村香代子、
高梨雅樹、小林由利、田中祥弘、増岡章司、平塚敦子、押木正己

所管課 地域振興課長 須田英樹、副主幹 金子篤、主査 齊藤正文

農業振興課長 吉野博明、主幹 新宜之、主査 長谷川奈美

障害者支援課長 小笠原昌平、主幹 千葉茂

スポーツ推進課長 徳山雅美、副主幹 園田民子、主事 鹿島隆史

事務局 デジタル行政推進課長 山本優、副主幹 福島徹志、主査 佐々木雄基

4 欠席者 なし

5 議 事

議 題

(1) 集計結果及び指定管理者候補の決定について

(2) 今後のスケジュールについて

(1) 集計結果及び指定管理者候補の決定について

事務局より、最終的な候補の選定方法について、再度確認するため、次の説明をした。

申請を受けた施設所管課において、提案者が申請制限に該当するか否かを確認する「資格審査」については、前回の委員会で報告しているが、全ての応募団体について、申請制限に該当していない。

「提案審査」は、応募者によるプレゼンテーションを踏まえ、各委員に採点をしていただいた。各審査項目の採点結果のうち、より公平に評価するため、審査項目ごとに最高点と最低点を除いて算出した平均点(小数点以下第2位まで)をその審査項目の選定委員会としての評価点とし、総合評価点が最も高い提案者を指定管理者候補として選定する。総合評価点は募集要項で示した最低基準点である210点を上回っていることも条件となる。

次に、本日の会議における各施設の指定管理者候補選定までの具体的な進め方について次のとおり説明し、委員の了承を得た。

候補の選定にあたっては、最初に「入間市産業文化センター」、次に「入間市農村環境改善センター」、次に「入間市扇台福祉作業所」、最後に「入間市体育施設」の順で進め、施設ごとに候補者を選定してから次の施設に移るという方法で進める。

候補の選定にあたり、最初に応募者それぞれの総合評価点を発表する。

次に、総合評価点が最も高かった団体が指定管理者候補となるが、審査の中で、他の団体と比較しどの審査項目が高い評価を得ているかを説明する。

その後、各委員には、これらを踏まえ、審査で評価したポイントや意見、感想などを述べていただく。

いただいた意見等については、施設所管課で取りまとめ、最終的な委員会としての選定理由としたい考えである。

また、本日は、4つの施設の指定管理者候補の選定について諮るが、自らが関わっていない施設に関する評決には加わることはできない。また、その施設に関して意見を出された場合には参考意見とさせていただきます。

委員長：事務局から進め方について説明があったが、意見や質問はあるか。

委員：なし

委員長：では事務局の説明のとおり審議を進めさせていただきます。はじめに「入間市産業文化センター」の集計結果を事務局から報告願う。

事務局：応募者である「XXXXXXXXXX」の総合評価点は「234.40」点、続いて、「株式会社ケイミックス・パブリックビジネス」の総合評価点は「250.20」点、最後に「XXXXXXXXXX」の総合評価点は「239.40」点となっており、「株式会社ケイミックス・パブリックビジネス」が候補者となる。次ページに、委員別の審査表を掲載している。

委員長：事務局の報告により、総合評価点が最も高い応募者は、「株式会社ケイミックス・パブリックビジネス」であるとのことである。次に「株式会社ケイミックス・パブリックビジネス」が、高評価を得た審査項目について、事務局から説明願う。

事務局：「管理に関する経費の削減に向けた考え方」、「利用者サービスの向上」、「収支計画」、「事業実績」が、高評価を得ている。

委員長：只今、事務局から「株式会社ケイミックス・パブリックビジネス」の高評価を得た審査項目について説明があった。これらを踏まえ審査で評価したポイントや意見、感想をお聞かせいただきたい。

委員：文化事業について質問した。XXXXXXXXXXは、事業面では評価しなかったが、施設管理をある程度自前でやるという部分は高く評価した。

ケイミックスは、文化事業に特化しているとのことであったが、実際に魅力的な提案だった。自主事業を平日に行うという提案も評価した。

XXXXXXXXXXは、これまでの実績について評価したが、収支計画の内容と就業規則関係についてXXXXXXXXXXの改善が見られなかったことは残念だった。

委員：ケイミックスは、事業に独自性がある部分を高く評価した。また、経費の削減に関する部分も評価した。ただし、地域との連携は少し弱いと感じた。

XXXXXXXXXXは、地域との連携について強みを感じた。しかしながら、実績がある分、変化が乏しいと感じた。改善に関する提案がほしかった。

は、施設修繕についての提案を評価した。地域との連携についてもよく考えられていた。実施事業については独自性が足りないと感じた。

委員： ケイミックスは、経費削減、収支計画の内容について高く評価した。提案内容について、最も実現性があると感じた。

は、過去の実績を最も評価した。地域に根差した活動や入間市との連携を評価したが、収支計画や費用の削減については物足りないと感じた。

は、過去の実績、地域との連携はに劣り、経費削減の面ではケイミックスに劣ると評価した。

委員： 利用者の目線から評価を行った。はこれまでの実績について高く評価した。3団体ともに甲乙つけがたい提案であると感じた。

委員： ケイミックスは、市民サービスの面で高く評価した。

はこれまでの実績と地域との連携、施設管理部分に関する部分を高く評価したが、広報や誘客についての提案に積極性が足りなかった。

は、ケイミックスと甲乙つけがたい内容だったが、全体として特に高く評価する点がないと感じた。

委員： ケイミックスは、利用者サービスの向上や人員のバックアップという面のほか、文化事業に特化した部署を持つ点について高く評価した。

は、広報や誘客についての提案に積極性が足りなかった。

は、特に高く評価すべき提案が少なかった。

委員長： 3団体とも安定的な管理能力があると感じた。

ケイミックスは、経費削減に関する提案が魅力的だった。文化施設の指定管理実績、ノウハウについて、信頼感を感じた。文化事業に特化した部署を有し、各地の文化施設間で連携しているという部分についても、これまでにない事業等を期待できると感じた。

はこれまでの実績を評価し、信頼感は絶大だが、さらなる提案という部分がないため、次点とした。

は、良い提案だったが、特に高い評価を与える部分がないと感じた。

順位については、事務局説明のとおりだが、この順位に基づき、「ケイミックス・パブリックビジネス株式会社」を指定管理者候補として選定するということが意義はないか。

全委員： 異議なし

委員長： 「入間市産業文化センター」の指定管理者候補を「ケイミックス・パブリックビジネス株式会社」に決定する。なお、「ケイミックス・パブリックビジネス株式会社」が辞退した場合は、2位から3位までの団体を繰り上げて候補とすることによいか。

全委員：異議なし

委員長：以上で、「入間市産業文化センター」の指定管理者候補の選定については終結とする。

次に、「入間市農村環境改善センター」の集計結果を事務局から報告いただきたい。

事務局：応募者である、「アイル・コーポレーション株式会社」の総合評価点は「226.60」点であり、最低基準点の210点を上回っている。また、「入間市農村環境改善センター」の指定管理者候補への応募は1団体のみであるため、「アイル・コーポレーション株式会社」が指定管理者候補となる。次ページに、委員別の審査表を掲載している。

委員長：事務局の報告により、「アイル・コーポレーション株式会社」は最低基準点を上回っているとのことである。次に同社が、高評価を得た審査項目について、事務局から説明願う。

事務局：「管理に関する経費の削減に向けた考え方」、「申請団体の経営状況」、「事業実績」、「施設の管理基準及び管理体制」が、高評価を得ている。

委員長：只今、事務局から「アイル・コーポレーション株式会社」の高評価を得た審査項目について説明があった。これらを踏まえ審査で評価したポイントや意見、感想をお聞かせいただきたい。

委員：1社の応募のため、相対比較ではなく、基本的な部分として、管理運営能力について確認した。これまでの実績から堅実な運営が期待できるところを高く評価した。事業に関する提案は、一般的な内容にとどまり、物足りなさを感じた。今後、利用者や所管課と連携して、効果的な事業の展開を期待する。

委員：修繕の内製化についての提案を高く評価した。事業に関する提案は独自性が乏しいと感じたが、今後協議しながら事業展開できればと思う。農村環境改善センターは維持管理が重要だが、安心して任せられると感じた。

委員：地域に限った施設であるということもあり、先進的な事業提案は難しかったのではないかと感じた。地域に耳を傾けてもらえるということも確認したので、今後地域と共に育ってほしいという期待を込めて評価した。

委員：今回の提案では、子供を対象としたテニス教室やリフティング教室の提案があり、これまでにない提案であるため、高く評価した。

委員：経費の削減、修繕の内製化の提案を高く評価した。また、事業実績、類似施設を多数運営しているところについても高く評価した。本来であれば、他団体の提案も聞いたうえで比較しながら評価したかったところである。

委員：自主事業に関する提案は少し物足りなかつたので、ロケーションを生かした事業を期待する。予約が無い場合、閉館時間を早めるという提案は、公共施設のあり方としてどうなのだろうか。当該提案については、従業員の負荷という視点で

懸念があるため、評価を落としたところである。夜間を閉館するのではなく、夜間利用を促進するような働きかけを期待する。

委員長：事務局から高評価を得たと説明のあった項目について高く評価した。手広く指定管理を行っている実績があり、安心して任せられると感じた。子供を対象とする事業には、新しさを感じた。メンテナンス系に強みのある企業ということもあり、修繕の内製化やそれに伴う経費削減の提案について高く評価した。実績面から、手堅い運営が期待できるというところを共通で評価した。自主事業についてはさらなる発展を期待する。それでは、「アイル・コーポレーション株式会社」を「入間市農村環境改善センター」の、指定管理者候補として選定するというところで意義はないか。

全委員：異議なし

委員長：「入間市農村環境改善センター」の指定管理者候補を「アイル・コーポレーション株式会社」に決定する。なお、「アイル・コーポレーション株式会社」が辞退した場合は、再度公募を行うこともあることを申し添える。以上で、「入間市農村環境改善センター」の指定管理者候補の選定については終結とする。次に、「入間市扇台福祉作業所」の集計結果を事務局から報告願う。

事務局：応募者である「XXXXXXXXXX」の総合評価点は「209.20」点、続いて、「社会福祉法人入間市社会福祉協議会」の総合評価点は「237.60」点となっており、「社会福祉法人入間市社会福祉協議会」が候補者となる。次ページに、委員別の審査表を掲載している。

委員長：事務局の報告により、総合評価点が最も高い応募者は「社会福祉法人入間市社会福祉協議会」とのことである。次に同法人が、高評価を得た審査項目について、事務局から説明願う。

事務局：「基本方針、基本コンセプトの理解」、「利用者サービスの向上」、「申請団体の経営状況」、「職員配置の考え方」が、高評価を得ている。

委員長：只今、事務局から「社会福祉法人入間市社会福祉協議会」の高評価を得た審査項目について説明があった。これらを踏まえ審査で評価したポイントや意見、感想をお聞かせいただきたい。

委員：社会福祉協議会は、当該施設について長く運営を担っていることから、運営ノウハウについて高く評価したが、長く運営しているが故の悪い点についても懸念する部分があった。利用者サービスの向上というところでは少し気になる部分があった。市の事業の多くを業務委託しているが、社会福祉協議会自体が指定管理者としてふさわしいのかという視点で、今回、改めて評価を行った。は、地域活動支援センターの運営実績については評価した。活動による工賃アップを視野にいれた提案については魅力を感じたが、職員が不足している部分で若干の不安を感じた。

- 委員：社会福祉協議会は、長年の実績や提案内容の安定感について評価した。施設の性質上、目新しい提案は難しく、利用者が安心して通い続けられるべきと思い、評価を行った。施設を熟知しているので維持管理面においても安心できる。は提案からやる気を感じた。他施設での実績というところもあり、事業面では独自の取り組みが期待できるが、維持管理に不安を感じた。特に職員数に不安を感じる部分があった。
- 委員：社会福祉協議会は、管理運営実績を高く評価した。しかしながら、事業経営や管理体制が今のままでいいのか、見直す必要があるのではというところも感じた。■■■■は、他施設での実績については評価した。事業収入を多く見込んでいる提案についても評価した。しかしながら、両施設の既存利用者全てを受け入れることができないという点について、福祉という視点から評価できない点であり、利用者のことを考えて評価を行った。
- 委員：社会福祉協議会は、プレゼンテーション自体は立派だが、現実が見えにくいと感じたため、■■■■、現実的な部分を考えながら評価した。■■■■はプレゼンや提案書類から、社協との比較という視点で評価を行った。退所時間について、現在は16時だが、■■■■の提案では15時半となっている。たった30分だが、利用者の家族にとっては、夕方の時間帯というところは非常に重要である。また、長期連休があるという点についても利用者の視点では、疑問があった。さらに、職員が送迎を行うとのことであったが、次の日の準備等はどうするのかというところに疑問を感じるとともに、職員の人数については、やはり不安な部分があった。社会福祉協議会は、急な欠員に対して、社協本体から応援ができる体制については、安心できると感じた。収支のところでは差がついていたが、工賃アップについての提案は評価したが、地域活動支援センターの性質上、お金を稼ぐのが第一目標ではない。利用者の支援という視点が重要である。プレゼンでは言及がなかったが、社協も昨年工賃を見直しているため、そこも含めて評価を行った。
- 委員：社会福祉協議会は、過去の実績、良好な経営状況について高く評価した。利用者との関係が重要であるため、今後も継続して務めてもらいたい。■■■■は自主事業に関する提案は評価したが、既存施設との関係で、利用者には迷惑がかかる懸念があり、評価を落とした。
- 委員：社会福祉協議会は、運営実績について高く評価した。一方で、組織全体としての労務管理等について不安な点があった。■■■■については、自主事業に関する提案を評価したが、既存利用者の施設の異動という話は無理があるのではないかと感じた。また、経営面でも不安を感じた。
- 委員長：2者を比較して評価を行ったところ、やはり実績のある社会福祉協議が高い評価となった。■■■■が指定管理者となった場合を想定すると、やはり課題が多

く、現実としては難しいというところは感じた。社会福祉協議会については、継続して指定管理業務を行えると判断して評価した。ただし、プレゼンテーションと現実が乖離していて評価しづらかったが、これまでの実績から今後も安定した運営を期待できると感じた。当該施設は引継ぎ期間が短いので、制度的な部分で考える必要がある。それでは、「社会福祉法人入間市社会福祉協議会」を「入間市扇台福祉作業所」の、指定管理者候補として選定するということが意義はないか。

全委員：異議なし

委員長：「入間市扇台福祉作業所」の指定管理者候補を「社会福祉法人入間市社会福祉協議会」に決定する。なお、「社会福祉法人入間市社会福祉協議会」が辞退した場合、「XXXXXXXXXX」は最低基準点を満たしていないことから、繰り上げはできず、再度公募を行うこともあることを申し添える。以上で、「入間市扇台福祉作業所」の指定管理者候補の選定については終結とする。

次に、「入間市体育施設」の集計結果を事務局から報告願う。

事務局：応募者である「アイル・オーエンスグループ」の総合評価点は「250.80」点、続いて、「XXXXXXXXXX」の総合評価点は「240.00」点となっており、「アイル・オーエンスグループ」が候補者となる。次ページに、委員別の審査表を掲載している。

委員長：事務局の報告により、総合評価点が最も高い応募者は「アイル・オーエンスグループ」とのことである。次に同団体が、高評価を得た審査項目について、事務局から説明願う。

事務局：「管理に関する経費の削減に向けた考え方」、「利用者サービスの向上」、「収支計画」、「職員配置の考え方」が、高評価を得ている。

委員長：只今、事務局から「アイル・オーエンスグループ」の高評価を得た審査項目について説明があった。これらを踏まえ審査で評価したポイントや意見、感想をお聞かせいただきたい。

委員：アフターコロナの社会情勢の変化、これまでの運営をどのように変えていくのか、厳しい財政状況を踏まえた対応ということ、新規条例への対応、まちづくりというところをどのように考えていくのかとこのところを評価した。は実績面については評価できるが、新しい視点が足りないと感じた。また、新規条例に触れていないことは残念だった。アイル・オーエンスグループは、収支計画や独自性、利用者サービスの向上というところを高く評価した。

委員：アイル・オーエンスグループは、維持管理の部分について、実績面からも評価できると感じた。コンセプトとして、健康づくりと結びつけた提案もあり、入間市の方向性について理解してくれていると感じた。また、体育館のトレーニングルームに関する提案の独自性を感じるとともに、積極的な経費削減の提案

についても評価した。■■■■は、施設運営と地域団体との連携の実績という点について、評価でき、安心感を感じるが、改善の意欲はあまり感じられなかった。

委員：アイル・オーエンスグループは、隣接市でも運営実績がある点について高く評価した。経費削減についても、上限額を下回る提案について高く評価した。職員配置についても拡充の提案があった点についても評価した。■■■■は、実績面、団体との良好な関係については評価したが、事業の提案や経費削減努力に関する提案は弱いと感じた。

委員：概ね他の委員と同じ評価である。人員配置の拡充による安全面の充実という提案については特に評価する。■■■■は、これまでの実績という点は評価するが、新しい提案が見受けられなかったことから、評価を下げた。

委員：アイル・オーエンスグループは、利用者サービス向上に関する提案を評価した。プラスワンという提案について魅力を感じた。また、広報誘客についてのノウハウは優れていると感じた。■■■■は、過去の運営実績、地域との連携、施設維持管理については評価したが、収支計画の経費削減や広報に関する提案は弱いと感じて評価を下げた。

委員：アイル・オーエンスグループは、トレーニング室の充実、利用者サービス向上についての提案を高く評価した。また、広報に関する提案も具体的であったため、高く評価するとともに、人員配置の手厚さという点も評価した。■■■■は、実績、地域との連携はという点は評価したが、基本方針の部分で新規条例に触れていなかったところは残念に感じた。また、現在のホームページが気づらいというところでも評価を落とした。

委員長：新規条例制定という時期的に、大きく環境を変えるタイミングでもあるので、からの新しい提案を期待したが、出てこなかったところは残念に感じた。相対的な評価として、アイル・オーエンスグループは、新しいことに挑んでいくという姿勢について評価した。利用者サービスの向上、収支計画、トレーニング室の拡充に関する提案について高く評価した。順位については、事務局説明のとおりだが、この順位に基づき、「アイル・オーエンスグループ」を指定管理者候補として選定するということが意義はないか。

全委員：異議なし

委員長：「入間市体育施設」の指定管理者候補を「アイル・オーエンスグループ」に決定する。なお、「アイル・オーエンスグループ」が辞退した場合は、2位の「■■■■」を繰り上げて候補とすることでよいか。

全委員：異議なし

委員長：以上で、「入間市体育施設」の指定管理者候補の選定については終結とする。以上で、議事（１）「集計結果及び指定管理者候補の決定について」を終結する。

(2) 今後のスケジュールについて

委員長：今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

事務局：来年4月に指定管理期間が始まるまでのスケジュールを説明する。本日の会議で全ての指定管理者候補を選定いただいたため、指定管理者候補選定委員会は終了となる。今後は、事務局であるデジタル行政推進課と施設所管課において手続を進める。

令和5年

(10月下旬) 選定結果の通知(応募団体へ)

(10月下旬) 指定管理者候補決定についての協議決定

(11月下旬) 議案提出「指定管理者の指定」「債務負担行為の設定」

(12月中) 告示「指定管理者の決定」

令和5年(1月) 指定管理者との協定書締結

(3月) 広報いるま及び市公式ホームページで指定管理者の公表

以上の工程を経て、令和6年4月から指定管理者による運営が開始される。

委員長：事務局からの説明で不明な点はあるか。

委員：選定結果の通知内容はどのようなものか。

事務局：選定理由や採点結果についての記載はなく、選定結果のみを通知するものである。

委員長：他に不明な点はあるか。

全委員：特になし。

委員長：以上で、議事(2)「今後のスケジュールについて」を終結する。

7 その他 無し

以上